

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 35	
事業種別	国道改築事業	事業主体	青森県	
事業名	国道338号 道路改築事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	長後バイパス (佐井村)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国65% ● 県35% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	本路線は、北海道函館市を起点とし本県上北郡おいらせ町に至る約231kmの幹線道路である。当該事業は、幅員狭小(Wmin=3.0m)、線形不良(Rmin=8m)及び急勾配(lmax=12%)の隘路区間を解消し、道路交通の円滑化や安全性を確保することを目的としてバイパス整備を実施したものである。			
主な事業内容 (事業量)	全体延長 L=2,354m 道路幅員 W=6.0(8.0)m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 ① 走行時間短縮 ② 走行経費短縮 ③ 交通事故減少 ④ 冬期間の走行速度向上 《その他の効果》 ① 走行快適性の向上 ② (第2次)緊急輸送路、半島循環道路としての安全性向上 ③ 危険箇所(落石等)の解消など			
事業の実施経過	《事業着手》平成元年度 《用地着手》平成元年度 《工事着手》平成4年度 《事業完了》平成21年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕	再評価時(平成10年)	再評価時(平成15年)	再評価時(平成18年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H1 ~ H18	H1 ~ H18	H1 ~ H22	H1 ~ H20
総事業費	2,400 百万円	2,400 百万円	2,400 百万円	2,850 百万円
	事後評価時(平成26年) 〔最終実績〕			
	H1 ~ H21	~	~	~
	3,240 百万円	百万円	百万円	百万円
計画変更の実施時期	第1回計画変更(平成10年)	第2回計画変更(平成15年)	第3回計画変更(平成18年)	第4回計画変更(平成20年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H1 ~ H18	H1 ~ H22	H1 ~ H20	H1 ~ H21
総事業費	2,400 百万円	2,400 百万円	2,850 百万円	3,200 百万円
特記事項	・平成10年度、平成15年度、平成18年度に再評価を実施。 (対応方針→継続 個別附帯意見→平成10年度有) ※附帯意見「費用便益が低く厳しい数値となっているが、近い将来の観光人口の誘因や下北半島の交通便益の促進などをプラスして考慮すべきである。 また、緊急輸送路、半島循環路、危険箇所の解消などの位置づけもあり重要である。」  ・計画変更の理由 工法変更等による事業費・工期の見直し			
《事業概要図》				
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651	
		E-MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp	

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 2	
事業種別	治山事業	事業主体	青森県	
事業名	復旧治山事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	米山 (鯉ヶ沢町)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国 50%	県 50% 市町村 % その他 %
事業の背景・必要性	本地区は、平成18年8月の豪雨により山腹斜面が崩壊し、流下した土砂が人家、県道等に流出した。拡大崩壊し人家、県道等へ再度流出する恐れがあったことから、渓流に堆積した土砂の流出を防ぐための治山ダム工を設置し、山腹工により山腹斜面を安定させ被害を未然に防止したものである。			
主な事業内容 (事業量)	治山ダム工 3個、山腹工 A=0.27ha			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 山地保全効果 ・土砂流出による被害から人家等を保全する効果  (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) 平成19年度	(用地着手) -	(工事着手) 平成19年度	(事業完了) 平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H18年) [当初計画時]	再評価時( 年)	事後評価時(H25年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ~ H21	~	H19 ~ H21	
総事業費	82 百万円	百万円	115 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H20年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ~ H21	~	~	~
総事業費	117 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	[第1回計画変更内容] 事前評価時点で、山腹工1.85haで計画していたが、実施年度に行った調査委託の結果、対策を要する区域、内容等の見直し(治山ダム工1個 3個、山腹工1.85ha 0.27ha)が必要となったことから事業費の増額変更を行った。			
(事業概要図) 				
担当部課室名	農林水産部林政課	電話番号	017 - 734 - 9524	
		E-MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp	


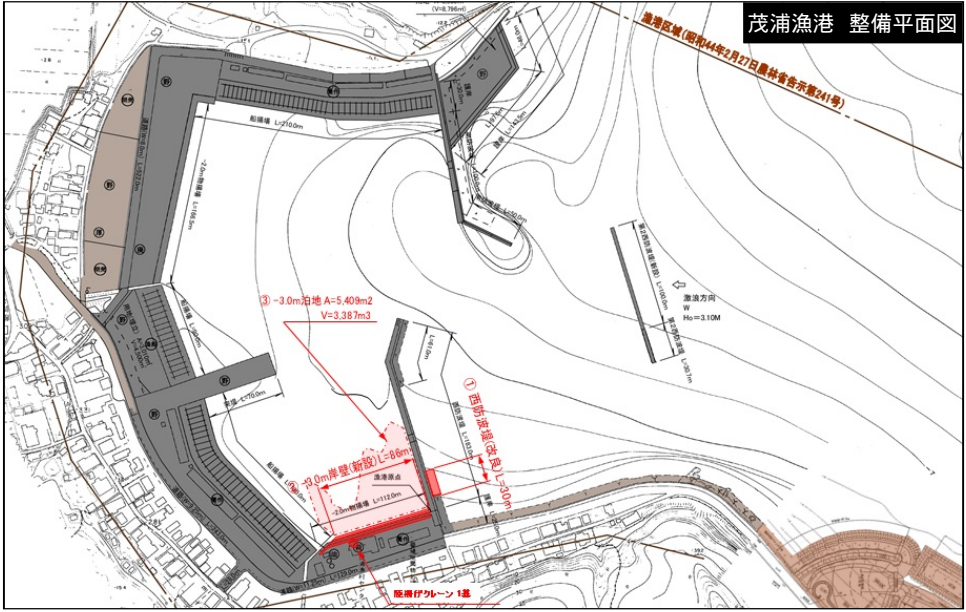
# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 7	
事業種別	治山事業	事業主体	青森県	
事業名	環境防災林整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	下浜松 (深浦町)	事業方法	国庫補助 交付金	県単独
事業の背景・必要性	本地区は、平成17年8月の大雨により山腹斜面が崩壊し、主要道路(国道101号線)に土砂が流入し一時不通となった。拡大崩壊し主要道路等に被害を与える恐れがあったことから、山腹・溪間工により山腹斜面を安定させ被害を未然に防止し、併せて生活環境を保全・形成するための森林の造成改良整備等を実施したものである。			
主な事業内容 (事業量)	山腹工0.03ha、治山ダム1個、森林整備4.90ha、管理歩道153.7m			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 山地災害防止効果 ・山腹崩壊・流出による被害から人家等を保全する効果  (その他の効果) -			
事業の実施経過	(事業着手) 平成18年度 (用地着手)	-	(工事着手) 平成18年度	(事業完了) 平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H17年) [当初計画時]	再評価時( 年)	事後評価時(H25年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H18 ~ H20	~	H18 ~ H21	
総事業費	100 百万円	百万円	50 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H18年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H18 ~ H20	~	~	~
総事業費	66 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	[第1回計画変更内容] 実施年度に行った調査測量設計委託の結果、対策面積の減(山腹工8.93ha 0.03ha、森林整備14.63ha 4.07ha)や工法の見直し(山腹工:丸太柵工、落石防止ネット 土留工)を行ったことから、事業費の減額変更を行った。			
(事業概要図) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>全体平面図 事業全体計画図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>山腹工縦断面図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>治山ダム工構造図</p> </div> </div>				
担当部課室名	農林水産部林政課	電話番号	017 - 734 - 9524	
		E - MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp	

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 10	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	県営かんがい排水事業	管理主体	稲生川土地改良区	
箇所名等 (市町村名)	相坂川左岸2期 (十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町、六戸町、東北町)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
事業の背景・必要性	<p>本地区農業用水の主水源は奥入瀬川・砂土路川に依存しているが、地域内の農業用水を確保するため、反復水利用の小規模揚水機場が数多く点在し、その維持管理費に多大な経費を要するとともに、代掻き期間が長期にわたるなど、農業経営の合理化が阻害されていた。</p> <p>本事業では、国営農業水利事業に関連する末端水路の改修を行い、国営事業と一体化した用水系統を整備し、用水の安定供給を図るとともに、ほ場整備等の関連事業と併せて土地基盤を整備し、農業経営の安定と近代化を目指したものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	用水路工 L=47,925.0m 揚水機場 N=3箇所			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) (1)作物生産効果 ・単収の増加や転作物の導入による作物生産量の増加効果 (2)営農経費節減効果 ・営農体系の変化等による営農経費の節減効果 (3)維持管理費節減効果 ・施設の維持管理費の節減効果 (その他の効果) (1)更新効果 ・事業の実施により、旧施設の機能が減退、喪失することなく継続して発揮する効果			
事業の実施経過	(事業着手) 昭和60年度	(用地着手) 昭和61年度	(工事着手) 昭和61年度	(事業完了) 平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) (当初計画時)	再評価時(H12年)	再々評価時(H17年)	事後評価時(年) (最終実績)
事業期間(事業着手～事業完了)	S60 ~ H4	S60 ~ H17	S60 ~ H21	S60 ~ H21
総事業費	5,040 百万円	8,126 百万円	7,868 百万円	8,020 百万円
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H元年)	第2回計画変更(H14年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	S60 ~ H12	S60 ~ H21	~	~
総事業費	5,320 百万円	7,868 百万円	百万円	百万円
特記事項	[再評価理由、再評価結果] 採択後長期継続によりH12及びH17に再評価を実施し、附帯意見は無く、評価結果は「継続」 [計画変更内容] 第1回計画変更では、上位事業である国営事業が用水計画を見直したことから、関連事業である本事業も主要工事計画が変更となり、それに伴い工期も12年に延伸となった。 第2回計画変更は、水路沿線の市街化に伴い開水路から地下埋設管になったことにより事業費が増となった。			
(事業概要図)				
担当部課室名	農林水産部農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9554	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	


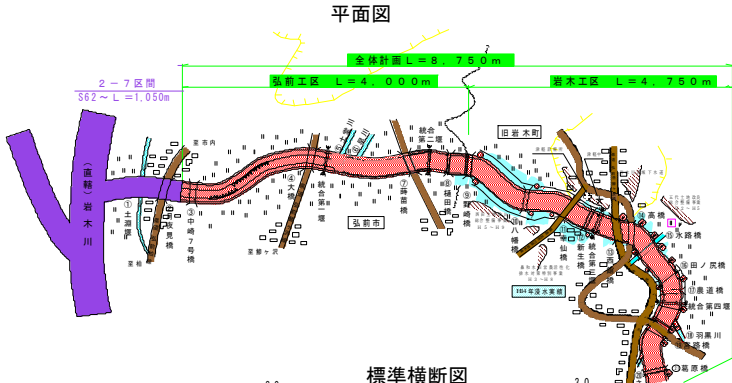
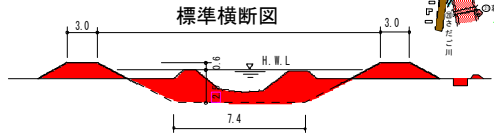
# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 25	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県、平内町	
事業名	漁村再生交付金事業	管理主体	青森県、平内町漁業協同組合	
箇所名等 (市町村名)	茂浦地区 (平内町)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国 50%	県 40% 市町村 10% その他 %
事業の背景・必要性	<p>本地区は、-3mの水深が確保された係船岸がないことから、一部の漁船については防波堤への係船を強いられており、防波堤上で養殖資材の積込作業等をせざるを得ない状況であったほか、低気圧等の荒天時には、防波堤からの越波により、安全な係船ができない状況であった。</p> <p>本事業は、これらの状況を改善するため、防波堤や岸壁等を整備し、漁業活動の効率化と安全性の向上を目指したものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	西防波堤30m、-3m泊地5,409㎡、-3m岸壁86m、陸揚げクレーン1基			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>(1)水産物生産コストの削減効果 (2)漁業就業者の労働環境改善効果</p> <p>(その他の効果)</p> <p>-</p>			
事業の実施経過	(事業着手) 平成20年度	(用地着手) -	(工事着手) 平成20年度	(事業完了) 平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時 (H19年) (当初計画時)	再評価時 (年)	事後評価時 (H25年) (最終実績)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H20 ~ H21	~	H20 ~ H21	
総事業費	290 百万円	百万円	192 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>深浅測量の結果、-3m泊地の浚渫範囲がA=9,800㎡からA=5,409㎡に減少したことから、実績事業費は計画事業費に対し98百万円の減額となった。</p>			
(事業概要図)	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 20%; text-align: center;"> <p>事業実施位置図</p>  </div> <div style="width: 80%;"> <p style="text-align: right;">茂浦漁港 整備平面図</p>  </div> </div>			
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614	
		E - MAIL	gyoko @pref.aomori.lg.jp	


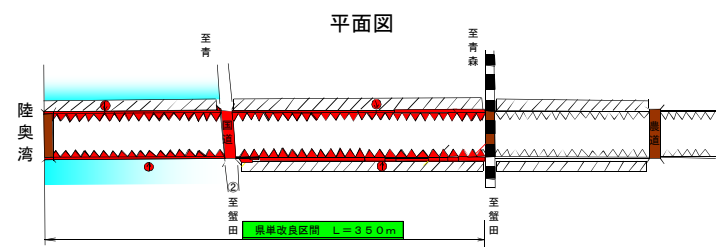
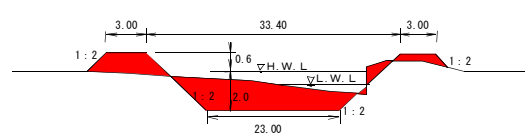
# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 33	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	広域漁場整備事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	三沢地区 (三沢市)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国 50%	県50% 市町村 % その他 %
事業の背景・必要性	当該地区の漁業は、スルメイカやサケなどの回遊魚やホッキガイなど限定された資源に対する依存度が高く、漁業経営が不安定なものとなっている。このため、砂浜域に魚礁を設置し、ヒラメやカレイ等の定着性資源を増集させて漁獲することにより、漁業経営の安定化を図ったものである。			
主な事業内容 (事業量)	【三沢漁場】魚礁56,938.0空m <sup>3</sup> 【百石漁場】魚礁4,043.6空m <sup>3</sup>			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 魚礁漁場整備による生産量増加効果			
	(その他の効果) 出荷過程における流通業の生産量の増加効果			
事業の実施経過	(事業着手) 平成13年度	(用地着手)	(工事着手) 平成13年度	(事業完了) 平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-) [当初計画時]	再評価時(H17年)	事後評価時(H25年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H19	H13 ~ H22	H13 ~ H21	
総事業費	1,658 百万円	1,110 百万円	731 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H16年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H22	~	~	~
総事業費	1,198 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	平成17年に再評価を実施。対応方針は継続。附帯意見は無し。 第1回計画変更：過去に整備した漁場の近傍に魚礁を設置し、追跡調査したところ、高い魚類増集効果が認められたことから、当初予定した別漁場の計画をシフトして集約化し、効果的な漁場整備を図った。			
(事業概要図)				
担当部課室名	農林水産部水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9615	
		E-MAIL	gyoko@pref.aomori.lg.jp	

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 37	
事業種別	河川事業	事業主体	青森県	
事業名	総合流域防災事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	後長根川 (弘前市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %	
事業の背景・必要性	一級河川岩木川水系後長根川は、沿川が旧岩木町中心部として人家密集地となっているが、現況流下能力が低く度々浸水被害に見舞われており、近年では平成14年8月、平成16年9月と浸水被害が頻発していた。このため、掘削・築堤により流下能力を増大させる改修工事を行ったものである。			
主な事業内容 (事業量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掘削工L=7,600m</li> <li>・築堤工L=15,000m</li> <li>・護岸工L=5,027m</li> <li>・橋梁N=13橋</li> </ul>			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水氾濫による被害防止効果(家屋、家庭用品、農作物等)</li> </ul> <p>《その他の効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人身被害抑止効果</li> <li>・交通途絶による波及被害の防止効果</li> </ul>			
事業の実施経過	《事業着手》昭和55年度    《用地着手》昭和55年度    《工事着手》昭和55年度    《事業完了》平成21年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時( - 年) 〔当初計画時〕	再評価時(H10年)	再々評価時(H15年)	再々々評価時(H20年)
事業期間(事業着手～事業完了)	S55 ~ H22	S55 ~ H22	S55 ~ H22	S55 ~ H22
総事業費	9,800 百万円	9,800 百万円	9,800 百万円	9,800 百万円
	事後評価時(H26年) 〔最終実績〕			
	S55 ~ H21			
	7,710 百万円			
計画変更の実施時期	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	・平成10年度、平成15年度及び平成20年度に再評価(整備計画策定の報告)を実施。(対応方針→継続、個別附帯意見→なし)			
《事業概要図》				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>位置図</p>  <p>後長根川</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p>平面図</p>  <p>標準横断面図</p>  </div> </div>				
担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9665	
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp	


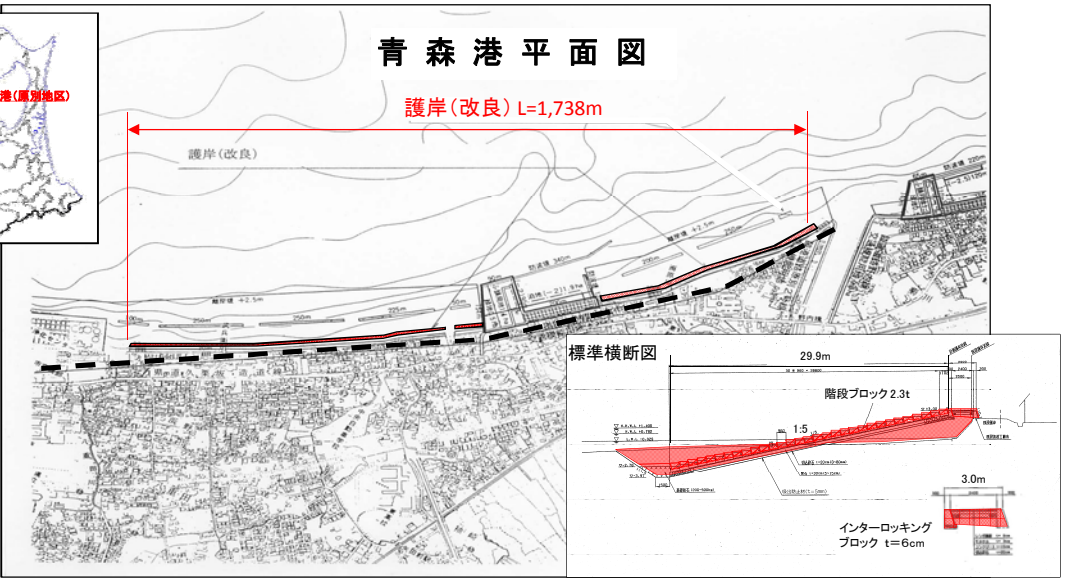
# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 42	
事業種別	河川事業	事業主体	青森県	
事業名	河川改良事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	六枚橋川 (青森市)	事業方法	○ 国庫補助   ○ 交付金   ● 県単独	
		財源・負担区分	○ 国 %   ● 県 100%   ○ 市町村 %   ○ その他 %	
事業の背景・必要性	二級河川六枚橋川は、河道の流下能力が低いことから、平成2年9月に床上床下合わせて13戸の浸水被害が発生している。このことから、沿川の家屋や耕地を浸水被害から守るため、河口部からJR津軽線までの一連区間において、築堤・護岸等により流下能力を増大させる河川改良工事を行ったものである。			
主な事業内容 (事業量)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築堤工L=700m</li> <li>・護岸工L=700m</li> <li>・樋門樋管N=4基</li> </ul>			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水氾濫による被害防止効果(家屋、家庭用品、農作物等)</li> </ul> <p>《その他の効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人身被害抑止効果</li> <li>・交通途絶による波及被害の防止効果</li> </ul>			
事業の実施経過	《事業着手》平成4年度    《用地着手》平成5年度    《工事着手》平成7年度    《事業完了》平成21年度			
公共事業評価の実施時期	事前評価時( - 年) 〔当初計画時〕	再評価時(H19年)	事後評価時(H26年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H4 ~ H25	H4 ~ H25	H4 ~ H21	
総事業費	640 百万円	640 百万円	631 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	
総事業費	百万円	百万円	百万円	
特記事項	・平成19年度に再評価を実施。(対応方針→継続、個別附帯意見→なし)			
<p>《事業概要図》</p> <p style="text-align: center;">位置図</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>六枚橋川</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>平面図</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>標準横断面図</p>  </div>				

担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9665
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp

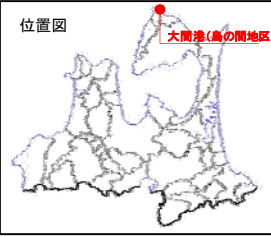
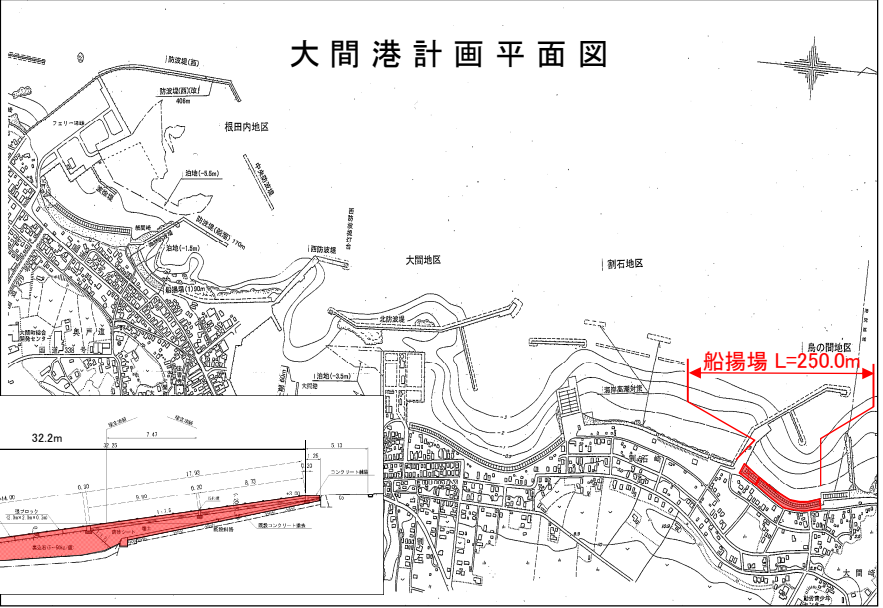
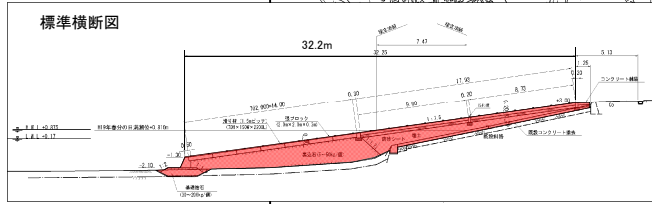


# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 61		
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県		
事業名	青森港海岸(侵食)事業	管理主体	青森県		
箇所名等 (市町村名)	原別地区 (青森市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独		
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 50% ○ 市町村 % ○ その他 %		
事業の背景・必要性	原別地区は既設の直立護岸の老朽化や基礎部の洗掘が著しく、背後に人家が密集しており、防災対策が急務となっている。加えて、地元からは「海と親しめる豊かな生活空間の復活」が要望されている。このため、高潮、波浪、津波等の海水による海岸侵食や災害を防除するとともに、親水性にも配慮し、「防護、環境、利用」の調和のとれた海岸となるように整備した。				
主な事業内容 (事業量)	護岸(改良)L=1,738.2m				
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>①侵食地域内の土地消失被害軽減効果 ②侵食地域内の一般資産等の被害軽減効果</p> <p>《その他の効果》</p> <p>①海岸利用が促進されることによる効果 ②地域住民の生活環境が向上することによる効果</p>				
事業の実施経過	《事業着手》平成3年度 《用地着手》		《工事着手》平成3年度		《事業完了》平成21年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時( - 年) [当初計画時]	再評価時(H12年)	再評価時(H17年)	事後評価時(H26年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H3 ~ H16	H3 ~ H16	H3 ~ H26	H3 ~ H21	
総事業費	2,290 百万円	2,290 百万円	2,935 百万円	2,567 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(13年)	第2回計画変更(18年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H3 ~ H26	H3 ~ H26	~	~	
総事業費	2,935 百万円	2,641 百万円	百万円	百万円	
特記事項	・H17再評価:再評価後5年(附帯意見:なし、対応方針:継続)				
《事業概要図》					
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 20%;"> <p>位置図</p>  </div> <div style="width: 80%; text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">青森港平面図</h2> <p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">護岸(改良) L=1,738m</p>  </div> </div>					

担当部課室名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 65	
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県	
事業名	大間港地域再生基盤強化交付金事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	鳥の間地区 (大間町)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 40% ● 県 47.5% ● 市町村 12.5% ○ その他 %	
事業の背景・必要性	<p>当該施設は、整備後40数年経過し、近年、施設の老朽化が著しく利用に支障を来している。さらに、背後地が狭隘であり、船舶係留など作業効率改善のための改修が望まれている。</p> <p>また、船舶の大型化及び隻数の増加に対応するため、施設の沖出し及び緩傾斜化を図り、安全性及び作業効率の向上を目指したものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	船揚場(改良)L=250m			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>① 漁業活動の効率化</p> <p>《その他の効果》</p> <p>① 漁業活動の利便性の向上</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成19年度 《用地着手》		《工事着手》平成19年度 《事業完了》平成21年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H18年) 〔当初計画時〕	再評価時( 年)	事後評価時(H26年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ～ H23	～	H19 ～ H21	
総事業費	450 百万円	百万円	274 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
<p>《事業概要図》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>位置図</p>  <p>大間港(鳥の間地区)</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;"> <h3>大間港計画平面図</h3>  </div> <div style="width: 20%;"> <p>標準横断面</p>  </div> </div>				
担当部課室名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677	
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp	

# 公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H26 - 67	
事業種別	街路事業	事業主体	青森県	
事業名	橋梁整備事業	管理主体	八戸市	
箇所名等 (市町村名)	3・4・12号沼館百石線 (八戸市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 49% ● 県 36% ● 市町村 15% ○ その他 %	
事業の背景・必要性	馬淵川左岸の人口増加が著しい住居地域である河原木地区と右岸の工業地帯とは馬淵川に架る橋により連絡されているが、上下流にある橋梁のみでは集中する車両により慢性的な交通渋滞をひき起こしていたことから、橋梁を新設して交通を分散させることにより慢性的な渋滞を解消し、産業・流通の効率化、地域経済の活性化を図ったものである。			
主な事業内容 (事業量)	施工延長L=985m、幅員W=19.8~34.0m、橋梁工1橋L=641m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》			
	① 交通量、旅行速度、混雑度、渋滞長			
事業の実施経過	《事業着手》平成11年度 《用地着手》平成17年度 《工事着手》平成11年度 《事業完了》平成21年度			
	《その他の効果》			
① 道路の安全性向上				
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H11年) 〔当初計画時〕	再評価時( 年)	事後評価時(H21年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H11 ~ H17	~	H11 ~ H21	
総事業費	7,950 百万円	百万円	6,688 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H17年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)	第 回計画変更( 年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H11 ~ H21	~	~	~
総事業費	7,456 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項				
《事業概要図》		《事業箇所位置図》		
担当部課室名	県土整備部 都市計画課	電話番号	017 - 734 - 9682	
		E-MAIL	toshikei @pref.aomori.lg.jp	